

学術研究を持続的に推進するための研究経営

矢吹 命大(横浜国立大学 経営戦略本部 准教授／研究推進機構 リサーチ・アドミニストレーター)

山田 朗(愛媛大学 先端研究院先端研究高度支援室 准教授)

講師略歴

【矢吹命大】横浜国立大学経営戦略本部准教授/研究推進機構リサーチアドミニストレーター/URA 育成教育研究センター副センター長。筑波大学大学院人文社会科学研究科国際政治経済学専攻単位取得退学、修士(国際政治経済学)。筑波大学大学院人文社会系特任研究員として巨大科学を巡る国家間関係の研究に従事した後、2014年横浜国立大学特任教員(講師)・URA。2024年4月より現職。経営戦略本部において大学経営判断を支援する各種情報収集、提言を行うと共に、URAとしては研究力分析、オープンサイエンスの推進、また、URA 育成教育研究センターでは、研究経営支援人材型 URA の育成手法の開発、研修の実施に取り組んでいる。

【山田朗】2002年に愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センターに助教として採用。2009年から先端研究推進支援機構のリサーチアドミニストレーター、2023年にシニア・リサーチアドミニストレーター。現在、輸出管理 DAY for ACADEMIA 実行委員会委員長。

プログラム概要

第7期科学技術・イノベーション基本計画において、研究力強化に向けた組織的マネジメントや研究開発マネジメント人材の重要性がこれまで以上に強調されるなど、大学には、研究活動を組織として戦略的に推進する「研究経営」の視点が一層求められています。大学として研究戦略を構想し、限られた人的・財政的資源を活用しながら、研究力の強化や特色ある研究の発展、持続的な研究活動の推進を図っていくためには、研究経営を大学執行部だけの課題として捉えるのではなく、研究者、事務職員、URA等の研究開発マネジメント人材を含め、多様な教職員がそれぞれの立場から研究経営の視点や考え方を共有し、関与していくことが重要になります。本プログラムでは、こうした動向や大学を取り巻く環境変化を踏まえながら、「研究経営」とは何かを改めて整理するとともに、研究経営に求められる視点や実践のあり方について受講者と共有します。

準備物・事前課題

なし

主な受講対象者

大学研究機関の研究経営に関心のある教職員等

到達目標

1. 「研究経営」の基本的な考え方を理解し、大学における研究活動を組織的・戦略的に推進する視点を説明できる。
2. 大学における研究推進上の課題を、自身の立場から研究経営の観点で捉え、必要な視点や論点を整理できる。
3. 研究者、大学執行部、事務職員、URA等の多様な立場が研究経営にどのように関与するかを理解し、大学全体として研究活動を支えるための実践の方向性を考察できる。